

KYOのあけぼの21

第52号

～平成20年度地域講座より(前編) /親から子どもに伝えたい家庭料理～

平成20年度
「KYOのあけぼの大学」地域講座



12月9日(火)

親から子どもに伝えたい
家庭料理教室

場所
京都府男女共同参画センター
調理実習室

◇京都府「女性の船ステップあけぼの」京都
支部の方々と共催事業です。



[レシピのダウンロードはこちら](#) (PDF)

朝取りの野菜、中央市場から直行の魚等、旬の食材を使
ってお正月、クリスマスにも役立つ”おぼんざい”を作る。
日頃家庭で作り食している安全で安心な料理を子や孫に
伝えてゆけるよう心がけて、楽しく作っておいしく食べるを
モットーに行いました。

平成20年度「KYOのあけぼの大学」地域講座

◇「KYOのあけぼの大学」地域講座は市町村と京都府男女共同参画センター さら京都が協働実施
(京都府の委託事業)している講座です。本年度は6月から12月にかけて府内の7市町で行われま
した。今回は、その中から10月までに実施された4市町よりお伝えします。

京丹波町会場 [6月21日\(土\)](#) [9月2日\(火\)](#)
 亀岡市会場 [9月13日\(土\)](#) [9月27日\(土\)](#)
 京田辺市会場 [10月5日\(日\)](#) [10月30日\(木\)](#)
 与謝野町会場 [10月15日\(水\)](#)

京丹波町会場

6月21日(土) 京丹波町中央公民館

「地域づくりに新しい風を」

伊庭節子さん
NPO法人舞鶴市女性センターネットワークの会理事長

ダメでもともと **まず行動** お金は
後からついてくる

肉じゃがでのまちおこしをはじめとして
自分の町のことを人任せにしないで
一歩ふみだそうと舞鶴八島おかみさん会を
結成して活動している。



店の奥にいて奥さんしているのではなく、自分で考えて行動するのがおかみさんだと。泉のごとくわき上がる話しぶりに圧倒され笑いの絶えない和やかな会場でした。



9月2日(火) 和知ふれあいセンター
「叩かず、甘やかさず 子育てを楽しむ方法」

井山里美さん
NPO法人 女性と子供のための
エンパワメント関西事務局次長

大人が自分を大切にすることが大事
体にも心にもごほうびは栄養となる

親の役割は、愛と制限を示すこと。「しつけ」はルールを教えるということであり親のイライラ、ストレス発散のために必要以上に殴ったり脅したりすることは虐待である。子供には何度もくり返し言ってあきらめないという気持ちが大切と話された。そして、大人が自分を大切にすることが大事。自分を癒す、自分にごほうびを上げることが心にも栄養を与えるのと同じというコトバに多くの共感が寄せられました。

亀岡市会場

9月13日(土) ガレリアかめおか
「きっと毎日が楽しくなる！
山田亮のワーク・ライフ・バランス提案」

山田亮さん
スーパー主夫
NPO法人 日本洗濯ソムリエ協会理事

アンチマッチョ宣言！！
ホンの一工夫で家事の時間をグンと短く

スーパー主夫として今やひっぱりだこの山田さん。家庭生活を素材にした男女の自立した生活を送る大切さを語られました。日々の生活から体得された子育てのエピソードや「プチ家事」へのヒント等々、質疑応答が盛んに行われたのは言うまでもありません。



9月27日(土) ガレリアかめおか
「独りぼっちをつくらない！
住民参加のまちづくり」
～大津市若葉町自治会の場合～

杉山泰子さん
大津市若葉町自治会長

やりたい人 できる人が楽しく
気軽に立ち寄れる場所と仲間づくり

誰もが安全で住みよいと感じる地域へ発展していきつつある若葉町です！情報が伝わる「仕組み」「仕掛け」を考え「思い」「つづやき」をカタチにする取り組みの様子を語る杉山さん。



これからの市民活動へのヒントを沢山頂きました。

京田辺市会場

10月5日(日) 京田辺市商工会館
「気づいて築こう男女共同参画社会」

伊藤公雄さん
京都大学大学院 文学研究科教授

女性が活躍する社会とは、男性きも
元気にし生き生きとした活気をもたらず

先進国と比べて30年は遅れていると言われる日本の女性の社会参画の現状。その打開と、これまで言われていたような男女の「2色刷り社会」から性別にかかわらず個々人が自分の個性と能力を十分に発揮できる「多色刷り」の社会の実現について、熱く語っていただきました。



10月30日(木) 京田辺市社会福祉センター
「見つめなおそう 生き方・働き方
～地域・家庭・職場から～」

中村艶子さん
同志社大学言語文化教育研究センター准教授



自分らしく、いきいきと
輝ける人生を送るために

今のままでは「仕事と生活の両立」は困難。今後「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」について一人ひとりが考え、生き方・働き方をみつめなおすことがいかに大切かを個人と企業の立場から話していただきました。

与謝野町会場

10月15日(水) 生涯学習センター 知道館
「エンジョイ!自立人生!!」

小芝ルリコさん
「役に立つ夫会」主宰・絵本作家・ハーブの家オーナー

第2の人生は自分の畑探しから

夫と共に農業も営んでいる小芝さんらしく、自分のやりたいコト＝畑にみたて、それを見つけることの大切さを自作の紙芝居なども使って会場にアピールしました。

[このページのトップへ](#)



～お知らせ～

次号は今年度の「KYOのあけぼの」大学地域講座(後編:城陽市、京丹後市、宇治田原町)及び「子育て両立支援講座」をお届けします。どうぞお楽しみに!!(2009年3月10日発行予定)